

2023年^{ねん がつ にち}3月30日

日本^{にほん}レムナント^{たいかい}大会^こ（子ども^{せんきょうきょく}宣^{こうめ}教^こ局^{むけ}）1 講目^こ（子ども^む向け）

シム・ジュウファン^{せんせい}先生

今日^{きょう}、1、2 講^{こう}で、柳^{りゅうせんせい}先生^{とお}を通して^{かみさま}神^{かた}様が^お語^わられた^おメ^おッ^おセ^おー^おジ^おを^お分^おかる^おで^おし^おう^おか^お。

分^おから^おない^おで^おし^おう^お。

いまからずっと^{もくそう}黙^{らいねん}想^{たいかい}して、来^{ひら}年^{もくそう}のレムナント^{もくそう}大会^{もくそう}が^{もくそう}開^{もくそう}か^{もくそう}れる^{もくそう}ま^{もくそう}で^{もくそう}黙^{もくそう}想^{もくそう}す^{もくそう}れ^{もくそう}ば^{もくそう}よ^{もくそう}い^{もくそう}の^{もくそう}で^{もくそう}す^{もくそう}。



最近^{さいきん}、流^{なが}れて^{なか}いる^{なか}メ^{なか}ッ^{なか}セ^{なか}ー^{なか}ジ^{なか}を^{なか}中^{なか}で^{なか}い^{なか}ろ^{なか}う^{なか}ろ^{なか}な^{なか}単^{なか}語^{なか}が^{なか}あ^{なか}り^{なか}、多^{おほ}すぎ^{おほ}て^{おほ}分^{おほ}かり^{おほ}に^{おほ}く^{おほ}い^{おほ}か^{おほ}も^{おほ}し^{おほ}れ^{おほ}ま^{おほ}せ^{おほ}ん^{おほ}。

「やぐら、プラットフォーム、見^み張^はり^{だい}台^{だい}、アンテナ、サミット・・・」この^{おほ}よ^{おほ}う^{おほ}な^{おほ}す^{おほ}べ^{おほ}て^{おほ}の^{おほ}こ^{おほ}と^{おほ}は^{おほ}、だ^{おほ}れ^{おほ}の^{おほ}も^{おほ}の^{おほ}で^{おほ}し^{おほ}う^{おほ}か^{おほ}。

「^{かみさま}神^{おほ}様^{おほ}の^{おほ}も^{おほ}の^{おほ}で^{おほ}す^{おほ}」この^{おほ}よ^{おほ}う^{おほ}に^{おほ}覚^{おほ}え^{おほ}ま^{おほ}し^{おほ}う^{おほ}。

見^み張^はり^{にん}人^{にん}の^{にん}や^{にん}ぐ^{にん}ら

この^{おほ}よ^{おほ}う^{おほ}に^{おほ}頂^{ちようじやう}上^たに^た立^たっ^たて^たい^たる^たこ^たと^た、

サ^{たか}ミ^たツ^たト^たも^た、も^{たか}つ^たと^た高^{たか}く^た立^たて^たる^たア^たン^たテ^たナ^たも^た、す^{たか}べ^たて^たは^た

神^{かみさま}様^{かみさま}の^{かみさま}も^{かみさま}の^{かみさま}で^{かみさま}す^{かみさま}。



神^{かみさま}様^{かみさま}が^{かみさま}サ^{かみさま}ミ^{かみさま}ツ^{かみさま}ト^{かみさま}、見^み張^はり^{だい}台^{だい}、ア^{かみさま}ン^{かみさま}テ^{かみさま}ナ^{かみさま}、プ^{かみさま}ラ^{かみさま}ツ^{かみさま}ト^{かみさま}フ^{かみさま}ォ^{かみさま}ー^{かみさま}ム^{かみさま}で^{かみさま}す^{かみさま}。

そ^{おほ}こ^{おほ}ら^{おほ}始^{おほ}ま^{おほ}つ^{おほ}て^{おほ}、神^{かみさま}様^{かみさま}が^{かみさま}と^{かみさま}も^{かみさま}に^{かみさま}お^{かみさま}ら^{かみさま}れ^{かみさま}る^{かみさま}か^{かみさま}ら^{かみさま}こ^{かみさま}そ^{かみさま}、私^{わたし}た^{わたし}ち^{わたし}が^{わたし}「^{おほ}や^{おほ}ぐ^{おほ}ら^{おほ}」^{おほ}「^{おほ}プ^{おほ}ラ^{おほ}ツ^{おほ}ト^{おほ}フ^{おほ}ォ^{おほ}ー^{おほ}ム^{おほ}」^{おほ}「^{おほ}見^{おほ}張^{おほ}り^{おほ}台^{おほ}」^{おほ}「^{おほ}ア^{おほ}ン^{おほ}テ^{おほ}ナ^{おほ}」^{おほ}「^{おほ}サ^{おほ}ミ^{おほ}ツ^{おほ}ト^{おほ}」^{おほ}と^{おほ}し^{おほ}て^{おほ}用^{おほ}い^{おほ}ら^{おほ}れ^{おほ}る^{おほ}の^{おほ}で^{おほ}す^{おほ}。

私^{わたし}た^{わたし}ち^{わたし}は^{わたし}、霊^{れい}的^{てき}状^{じやう}態^{たい}を^{かんが}考^{かんが}え^{かんが}て^{かんが}み^{かんが}ま^{かんが}し^{かんが}う^{かんが}。いま^{かみ}は^こ「^{かみ}神^この^こ子^こど^こも^こ」^こで^こす^こが^こ、以^い前^{ぜん}は^{つみびと}「^{つみびと}罪^{つみ}人^{びと}」^{つみびと}で^{つみびと}した^{つみびと}。

「^{つみびと}罪^{つみ}人^{びと}」

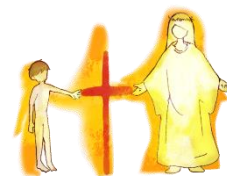
ローマ^{つみ} 6:23 「^{つみ}罪^{つみ}か^{つみ}ら^{つみ}る^{つみ}報^{ほう}酬^{しゆう}は^し死^しで^しす^し」と^し書^しい^して^しあ^しる^しと^しお^しり^し、死^しん^しで^しい^した^し状^{じやう}態^{たい}で^した^し。

死^しん^しだ^し人^{ひと}が^{うご}動^{うご}く^{うご}の^{うご}は^{うご}お^{うご}か^{うご}し^{うご}い^{うご}で^{うご}し^{うご}う^{うご}。

そ^{おほ}の^{おほ}よ^{おほ}う^{おほ}に^{おほ}死^しん^しで^しい^した^し状^{じやう}態^{たい}だ^{おほ}つ^{おほ}た^{おほ}の^{おほ}に^{おほ}、神^{かみさま}様^{かみさま}が^{かみさま}再^{さい}創^{そう}造^{ぞう}し^{おほ}て^{おほ}く^{おほ}だ^{おほ}さ^{おほ}つ^{おほ}て^{おほ}、神^{かみ}の^こ子^こど^こも^こに^{おほ}な^{おほ}つ^{おほ}た^{おほ}の^{おほ}で^{おほ}す^{おほ}が^{おほ}、神^{かみさま}様^{かみさま}と^{おほ}私^{わたし}た^{わたし}ち^{わたし}の^{あいだ}間^{あいだ}に^{おほ}「^{おほ}イ^{おほ}エ^{おほ}ス^{おほ}・^{おほ}キ^{おほ}リ^{おほ}ス^{おほ}ト^{おほ}」^{おほ}が^{おほ}あ^{おほ}つ^{おほ}た^{おほ}か^{おほ}ら^{おほ}、神^{かみ}の^こ子^こど^こも^こに^{おほ}な^{おほ}つ^{おほ}た^{おほ}の^{おほ}で^{おほ}す^{おほ}。こ^{おほ}れ^{おほ}が^{おほ}い^{おほ}ち^{おほ}ば^{おほ}ん^{おほ}大^{おほ}事^{おほ}な^{おほ}こ^{おほ}と^{おほ}で^{おほ}す^{おほ}。



す^{かみ}べ^{かみ}て^{かみ}が^{かみ}神^{かみ}様^{かみ}に^{かみ}よ^{かみ}つ^{かみ}つ^{かみ}て^{かみ}造^{つく}ら^{つく}れ^{つく}ま^{つく}し^{つく}た^{つく}。私^{わたし}た^{わたし}ち^{わたし}も^{かみ}、神^{かみ}の^かか^かた^かち^かに^か造^{つく}ら^{つく}れ^{つく}た^{つく}の^かに^か、ア^{かみ}ダ^{かみ}ム^{かみ}と^{かみ}エ^{かみ}バ^{かみ}の^{つみ}罪^{つみ}に^{つみ}よ^{つみ}つ^{つみ}て^{つみ}罪^{つみ}人^{つみ}に^{つみ}な^{つみ}つ^{つみ}て^{つみ}死^しん^しで^しま^しい^し、イ^{おほ}エ^{おほ}ス^{おほ}・^{おほ}キ^{おほ}リ^{おほ}ス^{おほ}ト^{おほ}の^{じゆうじか}十^{じゆう}字^じ架^かに^{おほ}よ^{おほ}つ^{おほ}て^{おほ}再^{さい}創^{そう}造^{ぞう}さ^{おほ}れ^{おほ}て^{おほ}、回^{かい}復^{ふく}し^{かい}ま^{かい}し^{かい}た^{かい}。



ですから、私たちがなにかをして、「やぐら、プラットフォーム、見張り台、アンテナ、サミット・・・」となるのではなく、神様とともにいる、ウィズ、インマヌエル、ワンネスを味わってれば、神様が私たちを使って、「やぐら、プラットフォーム、見張り台、アンテナ、サミット・・・」として用いてくださるのです。ですから、私たちが心配することはありません。

イエス・キリストが十字架と復活の前に弟子たちに言われました。

「わたしは天に行くと、聖霊を助け主として送る」と約束して下さったのです。それゆえ、いま聖霊が私たちの中に主人としておられ、私たちを守ってくださり、すべてを教えて、導いてくださっているのです。



ヨハネ 14:26

しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

イエス様は、助け主がすべてを教えてくださると約束して下さいました。勉強が分からないのを教えてくださるということではなく、イエス様が語られたすべてのことを分かるようにして下さるという約束です。ですから、心配はいりません。みことばが分からなくても大丈夫です。しかし、みことばを、祈りつつ聞くことは必要です。

また、私たちが、がんばって祈る必要もありません。

ローマ 8:26

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。

私たちは何を祈ればよいか分からない弱い存在です。しかし、私のために私の中で、うめきをもって祈ってくださっている方がおられます。それが聖霊様です。

ですから、天地を創造された神様と、神様と私たちを和解させて下さったイエス・キリストと、いまも私の中におられ、すべてを教え導いてくださる聖霊様、その三位一体の神様がともにいてくださるので、なにも心配する必要はないということです。

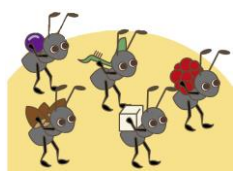
それだけを握って戻って行けば十分です。



先生の家には、玄関に行くまでに2、3段の階段があります。その横には小さな花壇があります。それゆえ、階段は、「あり」が通って行く道になっています。



子どもたちが玄関の前で遊んでいたので、先生がそばに行こうとしたら、子どもたちが「気をつけて。踏んじゃだめ」と言います。なにかと見たら、ありが並んで移動していました。子どもたちの声を聞かなかつたら、踏み殺していたところでした。「私の子どもゆえに、このありたちは生きた」と思ったのです。



では、もし、その生かしてもらった、ありたちが、感謝して、自分たちの大好物の食べ物（くさったもの、死んだ昆虫、ごきぶり・・・など）をたくさん持って来て、私の玄関の前に置いていったら、どうでしょうか。

うれしくないでしょう。また、その次の日に、もっと多くのありの食べ物がおいてあったら、どう思いますか。喜ぶことではないでしょう。

同じように、神様がご自分のひとり子を通して私たちを生かしてくださいました。とても感謝でしょう。死んでいた私を神の子どもにしてくださったので、感謝だと、いっしょうけんめいに勉強して、働いて、なにかうまくいったとお金や物をいっぱい集めて、自分の好きなものを持って神様にささげたら、神様が喜んで受けてくださるでしょうか。

つまり、私たちは、神様のためになにかをする存在ではないのです。

「ただイエス・キリストでなければ、私は死んだままだったんだ。イエス・キリストの死と復活によって私もよみがえって神の子どもになったんだ」と、この恵みに愛に感謝するしかありません。

私たちが一生懸命にすることによって、残りの人生、2030-2080の未来が変わるのでもありません。すでに、最初であり最後である主イエス・キリストが、私たちとともにおられます。それだけを十分に味わって、毎日感謝しながら祈り、メッセージを聞き、礼拝に勝利して祈りに挑戦するように。毎日、朝昼夜、10分ずつ、むずかしければ3分ずつでも大丈夫です。祈ってみましょう。



日本レムナント大会で語られたみことばが、私をどのように導いてくださるのかを見て行きましょう。